



2023年度 新春学習会

人道危機において、 国際機関が宗教者に 期待すること



開催日時

2024年1月25日（木）15:00-17:30



会場

立正佼成会法輪閣大ホール／オンライン

東京都杉並区和田2-8-36



講師プロフィール

榛澤 祥子

HANZAWA Shoko 赤十字国際委員会（ICRC）駐日代表

米国コロンビア大学で国際関係学の修士号を取得。2019年にICRCに入り、駐日代表部の人道調整顧問として政府をはじめ関係当局との協力を強化。中立・公平・独立の人道の諸原則に基づいたICRCの活動や、国際人道法の普及に努める。2023年6月にICRC駐日代表に就任、日本人女性初の駐日代表となる。ICRC以前は、外務省や国連難民高等弁務官事務所、国境なき医師団に勤務するなど、10年以上人道支援の分野に携わっている。アフガニスタン、イスラエル・パレスチナ、ミャンマーなどにも赴任。

伊藤 礼樹

ITO Ayaki 国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）駐日代表

米国コロンビア大学国際公共政策大学院で国際関係学修士課程（国際人権法専攻）を修了後、国連ボランティア（UNV）としてボスニア・ヘルツェゴビナに派遣される。日本政府のJPO（Junior Professional Officer）制度を通じてUNHCRミャンマーに赴任し、その後、ルワンダ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、アルメニア、スーダン、レバノン、ソマリアなどで難民保護の業務に従事。UNHCR本部（スイス・ジュネーブ）では、国際保護総局保護官、アジア太平洋地域局次長を務める。UNHCRシリア代表、UNHCRレバノン代表を経て、2023年1月からUNHCR駐日代表に就任。

お問合せ

（公財）世界宗教者平和会議（WCRP）日本委員会



03-3384-2337



<https://www.wcrp.or.jp>



rfpj-info@wcrp.or.jp

趣旨

先行きが見えないウクライナ情勢、争いが激化するイスラエル・パレスチナ武装勢力間の対立、さらにはアフガニスタン、ミャンマー、シリアなど各地で多発する武力衝突は、多くの犠牲者を生み出し、人々に深い悲しみと苦しみを与えています。罪のない人々にむごたらしい暴力がふるわれ、かけがえのない命が奪われています。かろうじて生き残った人々も家を奪われ、生きるに過酷な環境の中での生活を余儀なくされ、また暴力を目の当たりにした子どもたちは心身に深い傷を負っています。

こうした人道危機に対し、国際社会では様々な外交努力や支援活動が懸命に実施され、その中で宗教者・宗教団体も紛争和解や被害者支援などを実施しております。こうした宗教者の取り組みは、どのような意義があり、課題があるのか？そして、これからの人道危機の時代において果たすべき役割とは何か？

この度の学習会では、こうした宗教者の可能性について、人道危機に実践的に対応している国際機関からの期待と提言を頂く中で展望していきます。今、多くの国際機関は、平和構築における宗教者の活動に注目し、国際機関と宗教者のパートナーシップの構築を急いでおります。国際機関からの呼びかけに宗教者はどう応答するのか、この度の学習会で探究していきたいと思います。

プログラム

※敬称略

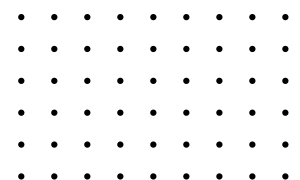
| | |
|--------|---|
| 15: 00 | 司会：佐原透修（WCRP日本委員会災害対応タスクフォースメンバー・立正佼成会総務部渉外グループ次長） 開会 開会挨拶：戸松義晴（WCRP日本委員会理事長） |
| 15: 05 | トルコ・シリア現地調査報告： 館野庸子（WCRP日本委員会災害対応タスクフォースメンバー・解脱会青年本部事務局次長） |
| 15: 15 | 講演： 榛澤祥子（赤十字国際委員会〔ICRC〕駐日代表） 伊藤礼樹（国連難民高等弁務官事務所〔UNHCR〕駐日事務所代表） |
| 16: 15 | 休憩 |
| 16: 25 | 宗教者を交えてのパネルディスカッション コーディネーター：山本俊正（WCRP日本委員会理事、元関西学院大学教授） パネリスト： 黒住宗道（WCRP日本委員会理事、黒住教教主） 本多端子（WCRP日本委員会女性部会委員、全日本仏教婦人連盟理事） 大西英玄（WCRP日本委員会理事、北法相宗音羽山清水寺成就院住職） 榛澤祥子 伊藤礼樹 フロアディスカッション 閉会挨拶 武藤謙一（WCRP日本委員会理事、日本聖公会首座主教） |
| 17: 30 | 終了 |

.....
.....
.....
.....



パネリストプロフィール

※敬称略



山本 俊正（元関西学院大学教授、WCRP日本委員会理事）

YAMAMOTO Toshimasa

米国合同メソジスト教会にて牧師の按手を受ける。米国ハワイ州、カリフォルニア州のメソジスト教会牧師を経て、日本キリスト教協議会（NCC）総幹事を歴任。近著に「アジア・エキュメニカル運動史」等。



黒住宗道（黒住教教主、WCRP日本委員会理事）

KUROZUMI Munemichi

成蹊大学文学部文化学科卒業後、英国国立ロンドン大学東洋アフリカ学院（SOAS）に研究生として2年間留学。「世界連邦日本宗教委員会」副会長。「（公財）世界宗教者平和会議日本委員会」理事。「人道援助宗教NGOネットワーク（RNN）」世話役事務局長。



本多端子

（公益社団法人全日本仏教婦人連盟理事、WCRP日本委員会女性委員）

HONDA Tadako

（公社）全日本仏教婦人連盟前理事長現常務理事
文化庁宗教法人審議会委員
浄土真宗東本願寺派婦人会理事長
浄土真宗東本願寺派妙清寺責任役員
（公財）日本宗教連盟評議員



大西英玄（北法相宗音羽山清水寺成就院住職、WCRP日本委員会理事）

ONISHI Eigen

2000年に関西大学社会学部卒業、その後アメリカへ留学。2004年には高野山にて加行、2005年に帰山し、現在に至る。現在清水寺にて清水寺責任役員の一人、執事として山内外の法務を勤める。日々の仏事と共に、大衆庶民信仰の入口を構築、観光客と信者の橋渡しをテーマに、今と未来の護持発展の種まきに努める。

MEMO